

「取引完了」

—2 稿—

2025/5/3

米俵

〈人物表〉

冨島 怜奈

(22)

会社員

怜奈の家・室内（夜）

薄暗い部屋の中。大きなフィギュア棚が置かれている。そこには、ケースに入ったフィギュアが綺麗に飾られている。大切にしている様子が分かる。

冴島怜奈（22）、オンラインゲームをしている。パソコンの光が不気味に怜奈の顔を映し出す。

（パソコン画面）怜奈の扱うキャラが死体撃ちをしている。

怜奈 「はい、余裕」

怜奈、面白がっている様子。

インターホンが鳴る。

怜奈、玄関へ向かう。

× × ×

嬉しそうに、荷物を持って戻ってくる。

ダンボールを開封するとフィギュアの箱が出てくる。入念に箱を確認する。

怜奈、満足そうな表情。

ゆっくりと丁寧に箱を開ける。

梱包材に包まれたフィギュアを取り出す。

怜奈、早まる手を落ち着けるように一呼吸おいてから、梱包材をはずしていく。

頭、胴体、足が分かる程度のまっさらな人形が出てくる。足裏に465の数字。

怜奈、不機嫌に眉間に皺を寄せ、舌打ち。フィギュアを放りだし、携帯を手にする。

（携帯画面）フリマアプリの販売画面。「希少！生産数500体！限定フィギュア。シリアルナンバー有」などの文字が並ぶ。

怜奈、人形の足裏を再度確認。465の文字。

怜奈 「マジ、最悪」

と、フィギュアを放り投げる。

怜奈、ベッドにドカッと座り、メッセージを送る。悔しそうに大きく溜息をつく。

2.

怜奈の部屋・室内（朝）

放り出されたままのフィギュア。

怜奈、急いだ様子で、出勤の準備をしている。床に

転がったフィギュアを踏みそうになり、舌打ち。

携帯を確認する。

（携帯画面）フリマアプリの取引画面。相手からの返信はない。

怜奈、蔑む表情で画面を見つめ、

怜奈 「何コイツ。死ねよ」

（携帯画面）取引キャンセルボタンを押す。「事務局からの連絡をお待ちください」と表示される。

3.

怜奈の部屋・室内（夜）

真っ暗な部屋。

電気がつき、部屋に入ってくる怜奈。

苛立った様子で鞆を投げる。

足元にあったフィギュアに目をやる。

フィギュアの顔が変化している。

怜奈、驚いて、

怜奈 「えっ？」

フィギュアから離れる。

恐る恐る近付き、フィギュアを手取る。

顔を近付けて確認する。

精巧に作られているフィギュアの顔。

怜奈、しばらく、フィギュアの顔を見つめる。

ゆっくりとフィギュアを壁際に立たせる。

怜奈、オンラインゲームを始める。

何度もフィギュアを確認し、集中出来ない様子。

（チャット画面）同じ人物から「楽勝w」「ざまあ

」などが並ぶ。

怜奈、苛立った様子で、「消えろ」とタイピング。

乱暴にパソコンの電源を切る。

ベッドに寄りかかり、フィギュアを見つめる。

フィギュアの体がゆっくりと変化していく。

怜奈、驚いた表情で、それを見る。

箱のイラストと同じポーズをとったところで、フィギュアの変化が止まる。

怜奈、フィギュアが可動式ではないことを確かめる。慎重に台の上にフィギュアを置く。

何かを考えるようにフィギュアを見つめる。

その時、携帯にメッセージが届く。怜奈の体がビクッとなる。

怜奈、眉間に皺を寄せ、携帯を確認する。

（携帯画面）メッセージ画面。相手の名前表記は、クソ上司となっている。長文のメッセージがきている。

舌打ち。流すようにスクロールする。

怜奈 「面倒くさ。クソジジイ。死ね」

と言って、ベッドに横になる。そのまま、フィギュアを見つめる。フィギュアに変化はない。

4. 怜奈の部屋・室内（夕）

T「2日後」

怜奈、喪服に着替えている。テーブルには香典。

嬉しそうに、フィギュアを手取る。

服を着るという変化をとげているフィギュア。その

服は、細かいディテールまで丁寧に再現されている。

怜奈、嬉しそうに感触を確かめる。

満足そうに、フィギュアとその箱をケース棚の一番目立つ場所に置く。

（携帯画面）フリマアプリ取引画面。取引完了ボタンを押す。

画面を見つめ、不敵に笑う怜奈。

5. 怜奈の部屋・室内（夜）

T「1週間後」

薄暗い部屋。テレビがついている。

テレビ音声 「ゲーム中の不審死が相次いであります」

怜奈、嬉しそうに、フィギュア棚を確認している。
フィギュアは、更に変化し、豪華になっている。ジ
オラマのように背景や足元の造形まで出来上がって
いる。フィギュアの肌には艶もあり、生きているよ
うにも見える。

怜奈 「最高」

と、フィギュアの頬をなでる。テレビからは不審死
のニュースの音声が聞こえている。

怜奈、テレビ前に座り、携帯を確認する。

（携帯画面）ゲーム名や本名などのリスト。上から
順に名前の横に×印が書かれている。

怜奈、笑いがこらえられないといった様子で、声を
出して笑う。そのままフィギュアに視線を向ける。
楽しくて仕方ないといった表情の怜奈。

6. 怜奈の部屋・室内（昼）

怜奈、電話をしながら帰宅する。

怜奈 「分かってるよ。うるっさいなー」

怜奈、受話口から声が聞こえているのを無視して、
電話を切る。

すぐに電話の着信。表示は母親。

怜奈、画面を確認して、携帯を投げる。

怜奈 「うっざい。本当むかつく。消えろ」

と、ベッドにうつ伏せになる。

しばらくして何かに気付いたように突然起き上がる。

急いで、フィギュアを確認する。

フィギュアの変化がないか細かく確認する。

安堵した表情。

再び、ベッドに横になる。そのまま目を閉じる。

× × ×

怜奈、父親からの着信で目を覚ます。

眠そうな顔で、電話に出る。

信じられないといった表情に変わる。

慌てた様子で、フィギュアを確認する。

フィギュアの見た目に変化はない。
急いで部屋を飛び出す。

怜奈が出ていった後の暗い部屋。

フィギュアの口元だけが動き、口角が上がる。

7.

怜奈の部屋・室内（夜）

T「2週間後」

ゆっくりとした動作で、怜奈が入ってくる。黒い服。
力なく、顔を上げ、フィギュアを見る。

その瞬間、フィギュアの口元が動き、

フィギュア「（楽しそうに）次は誰にする？」

怜奈、後ずさる。足がもつれ、尻もちをつく。

フィギュア「友達？ お父さんもいいね」

と、可笑しそうに笑う。

怜奈、下を向いて、

怜奈「何それ。そういう変化……」

フィギュア「最高でしょ？」

怜奈、怒りの表情でフィギュアを見る。

怜奈「お母さんは、頼んでない……」

フィギュア「消えろって言ったじゃん」

フィギュアが怜奈のモノマネをして、

フィギュア「うっさい。本当むかつく。消えろ」

と、再現する。自分の声に大笑いするフィギュア。

怜奈、フィギュアを睨む。

フィギュア棚に近付き、ケースからフィギュアを取

り出し、思い切り投げる。

壁に打ちつけられるフィギュア。

床に落ちたフィギュアの口角が上がる。

怜奈「笑うな」

怜奈、フィギュアを拾い上げて、何度も床に叩きつける。

フィギュア「（ふざけたよに）うわー、助けてー」

怜奈、力ずくでフィギュアを折り曲げていく。

怜奈「ただの人形のくせに」

フィギュアの首や腕、足がはずれていくが、すぐに元に戻る。

フィギュアが不敵に笑う。

怜奈、力なくフィギュアを離す。

フィギュア「無駄だよ。早く次のターゲットを決めよ」

怜奈、無視してフィギュアをゴミ袋に入れる。

玄関へ向かおうとするが、ゴミ袋が軽くなっていることに気付く。

元の場所に戻っているフィギュア。

フィギュア「だから、無駄だって」

窓から外へ投げ捨てる。

同じように元の場所に戻っている。

フィギュア「(おどけて) ハロー」

怜奈、焦った表情で、部屋を見渡す。

最初に入っていたフィギュアの箱が目に入る。

フィギュア「(慌てて) あっ、それはちよつと待って」

怜奈、無視して箱へフィギュアを入れようとする。

フィギュア「待って。もっと遊ぼうよ。殺そうよ」

怜奈、無視する。なぜかなかなか箱へ詰められない。

フィギュア「いいの？ 本当にいいの？」

怜奈「……もういいらない」

と、フィギュアの頭を箱の中へぎゅっと押し込む。

フィギュアが箱の中へおさまる。声は聞こえない。

怜奈、急いで写真を取る。

(携帯画面) フリマアプリを開く。出品する。

怜奈の携帯を持つ手が震える。

(携帯画面) SOLDOUTの表示が出る。

怜奈、急いでダンボールに詰め、部屋を出ていく。

8.

怜奈の部屋・室内(昼)

T「翌日」

カーテンを閉め切った部屋。

怜奈、憔悴しきった顔で、携帯を握りしめている。通知音に気付き、携帯を見る。

（携帯画面）取引完了の通知。

怜奈、安堵の表情で、大きく溜息をつく。
力を抜いたその瞬間、苦しみだす。

そのまま目を見開いて死ぬ。

（携帯画面）フリマアプリの評価画面。非常に悪いの評価がついている。コメント欄には「全く違うものが届きました」

天井から撮った構図。薄暗い部屋。

死体の近くで、携帯の明かりだけが光っている。
徐々に引きのアングルになる。

9. パソコン画面

パソコン画面に怜奈の部屋が映っている。

（以降、全てパソコン画面での動き）

動画が終了される。

動画に名前がつけられる。

動画名「被験者465…**冴島 怜奈**」

呪物研究というフォルダに入れられる。

ファイルには沢山の動画。被験者001〜**番号順に名前がつけられ並んでいる。**

（おわり）